

“地域らしさ”を磨きながら学生と企業が共創し、地域課題を解決

～糸満観光農園で地域活性化を目指す実証プロジェクトを実施～

沖縄セルラー電話株式会社（沖縄県那覇市、代表取締役社長：宮倉 康彰、以下「沖縄セルラー」）は、KDDI 株式会社（東京都港区高輪、代表取締役社長：松田 浩路、以下「KDDI」）と、株式会社 ATOMica（宮崎県宮崎市、代表取締役 Co-CEO：嶋田 瑞生、南原 一輝、以下「ATOMica」）と連携し、2025年12月4日から6日の3日間、糸満市観光農園を舞台に、地域活性化と人材育成を同時に実現するプロジェクトを実施しました。

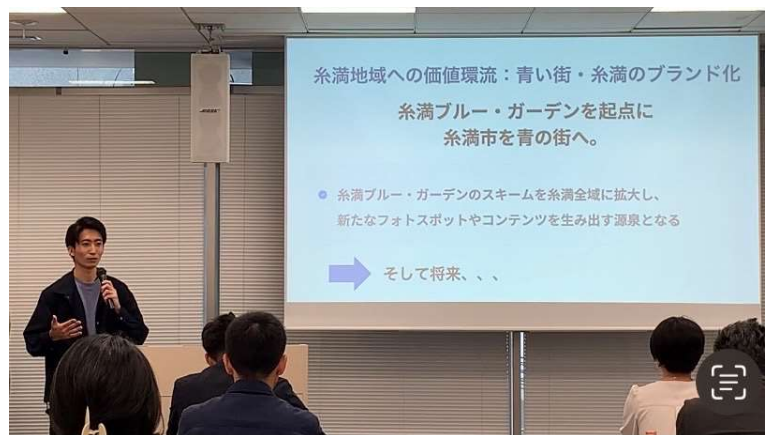
本プロジェクトは、地域が本来持つ文化や人の魅力を活かしながら、若者が未来を描ける持続可能な地域価値を、学生と企業が共に創り出すことを目的としています。

今回は、若年層への認知度向上と来訪促進を課題としている糸満市観光農園を舞台に、沖縄で古くから親しまれ、鮮やかな青い花が特徴のハーブ「バタフライピー」を活用しながら、学生たちが同農園の魅力を高めるための新しいコンテンツ企画に取り組み、最終日には成果発表会を開催し、35名が参加しました。県内大学生をはじめとし、東京大学に通う沖縄県出身の学生たち（学生団体 ALOHA）、県外大学生も多数参加しました。

プログラムでは、地域の現状や魅力を再発見するために、「JUNGLIA OKINAWA（ジャングリア沖縄）」を運営する株式会社ジャパンエンターテイメント事業開発部ディレクター宮里大八氏による講演やバタフライピー農家への訪問・体験など、企業や専門家による学びの機会を通じて、学生が現場の課題や可能性を深く理解し、戦略立案に取り組みました。

プロジェクトを主催した担当者は、「地域の方々を受け入れられながら、学生が実践の中で学び、成長していく姿に地域共生の本質を感じた」と述べ、地域共生の意義を語りました。

参加者は、「普通に過ごしては出会わないような学生との交流に加え、糸満市の課題や可能性を自分の目と体験で感じることができた。同時に沖縄のことをもっと良くしていきたいという思いを持った。」と述べ、今後の意欲を語りました。



今後も提案プランの一部を継続実証するなど、地域と共に持続的な地域価値を生み出す取り組みを続けていきます。

1. プロジェクト概要

- 実施日：2025年12月4日(木)～6日(土)
- 実施内容：地域が本来持つ文化や人の魅力を活かしながら、若者が未来を描ける持続可能な地域価値を、学生と企業が共創する
- 実施場所：
 - Day1_沖縄セルラー本社、読谷村バタフライピーファーム、御菓子御殿（読谷村）
 - Day2_糸満市観光農園
 - Day3_沖縄セルラー本社
- 後援：糸満市

2. プログラム

	事前オンライン オリエンテーション・講演	Day1 農園理解・仮説だて	Day2 企業理解・戦略立案	Day3 発表準備・成果発表
A M	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動（東京→沖縄） ・ 沖縄セルラー本社集合&昼食 ・ 顔合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップ① ターゲット別（インバウンド・ファミリー・大学生等）周遊プラン案の検討 ・ 地域企業・アセット理解 講演を通じて実装につなげられるアセットの理解や実現化に向けた壁打ちセッションを実施 ・ ランチ懇親会 講演だけでなく今後につながる交流とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表準備 プランのブラッシュアップが終わっていないグループはこの時間を活用して修正
P M	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームメンバー紹介/アイスブレイク ・ オリエンテーション プログラム目的/スケジュール説明/最終成果物の抽象的イメージ ・ 糸満観光の現状共有 糸満市・観光農園の紹介、沖縄観光の現状インプット（観光動向・ターゲット別ニーズ） ・ 事前宿題提示 全国や沖縄の地域資源の事例収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糸満観光農園/周辺アセット確認 周辺アセットは各自リサーチして訪問 and フィールドワークでキーマンの話を聞いて理解を深める ・ 講演 観光地の再興や沖縄を盛り上げる街づくりのプロによる講演でインプット ・ 交流会（軽食準備） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザーインタビュー 糸満地域の観光客に対してインタビューを実施してより納得感のあるプランを検討 ・ ワークショップ② 企業や観光客のインタビューを踏まえてプランを固め、伝わる形に整理する ・ 発表資料準備 イラスト等を用いて資料作成、発表練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果発表会 メディア・地域企業・県内高校生を招いてチームごとに戦略を発表、FBをもらう ・ 移動

3. 今後の展望

継続的な価値創出で地域の持続的成長を実現していきたいと考えています。同じ志をもつ企業・パートナーとの共創により、単独企業では難しかった課題を、複数企業で取り組むことで、解決の選択肢を増やし、新たな地域の価値と可能性を拓き、地域の課題解決を目指します。